

CASBEE 京都-新築

標準システム

■使用評価マニュアル：CASBEE-京都-建築(新築)2018年版 | 使用評価ソフト：CASBEE京都-新築2018 (v.1.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	学校法人龍谷大学深草キャンパス学生会館跡地施設(仮称)建設工事	階数	地下1F, 地上5F
建設地	京都市伏見区深草西清町4丁目 1番11号21番22番23番24番25番26番	構造	S造
用途地域	第1種住居地域・第2種住居地域, 準防火地域	平均居住人員	600 人
地域区分	6地域	年間使用時間	1,800 時間/年(想定値)
建物用途	学校, 集会所,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年12月 0.0	評価の実施日	2018年8月14日
敷地面積	5,630.46 m ²	作成者	高木, 廣江
建築面積	1,841.86 m ²	確認日	
延床面積	5,607.72 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.6 ★★★★★★☆☆

S: ★★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%
②建築物の取組み 87%
③上記+②以外の 86%
④上記+ 86%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.5

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.3

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.4

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 4.1

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.5

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.4

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合 ・ホールをL字で囲うようにボリュームを配置することで、周辺住宅への騒音に対し配慮した配置計画		その他 ・太陽光発電の採用
Q1 室内環境 ・標準レベルより高めの照度を確保する照明計画 ・標準レベルより高めの換気量を確保する換気計画 ・建物内全面禁煙の実施	Q2 サービス性能 ・高寿命なダクト、配管材質の選定 ・耐震Aクラスの採用 ・機器更新を考慮した建築計画	Q3 室外環境(敷地内) ・緑化による街並みへの配慮 ・室外機を人の通行等に影響が出ないように高い位置に配置
LR1 エネルギー ・ペリメータ負荷を削減する建築計画(外皮)	LR2 資源・マテリアル ・節水器具の採用	LR3 敷地外環境 ・室外機のショートサーキットを防止する機器配置

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される